

目標達成のための施策

(1) 水道の運営基盤の強化

施策名	課題及び目標	定量的・定性的指標の例
新たな概念による広域化の推進及び集中と分散を最適に組み合わせた水供給システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の水道に係る課題に的確に対応し需要者への給水サービス水準を向上 ・広域化による経営基盤強化・技術力向上により、清浄で豊富低廉な水の安定的確保 ・未普及地域への水道普及、過疎地等における水供給体制の確保、支援等 ・事業の持続可能性の確保 	<p>新たな概念による広域化の進捗度 例えば…新広域化水道事業数/市町村数、新広域化人口率(給水量率)、事業者当たり技術者数</p> <p>新たな広域化やソフト統合による効果 例えば…給水カバー率、ソフト統合給水量率、経営・サービス指標の改善率</p>
最適な運営形態の選択及び我が国の水道にふさわしい官民パートナーシップ(PPP)の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・官民各々の長所・ノウハウを生かし需要者の満足度の高い高レベルのサービスを提供(相乗効果による水道界全体のレベルアップ)) ・水道事業の実情に応じた最適な水道経営・管理形態の選択による持続的経営の確保 ・事業の持続可能性の確保 	<p>民間事業者の活用 例えば…民間事業者活用(第三者委託、PFI等)実施事業者数・件数</p> <p>維持管理レベルの向上 例えば…立入検査時の指摘件数、顧客満足度、維持管理に係る(官民計の)水道技術者数</p>
コスト縮減を行いつつ適切な費用負担による施設の整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設更新・改良による信頼性の高い水道の次世代への継承 ・中長期的財政収支に基づく、水道事業経営基盤の強化、トータルとしての経営効率化 ・原価を適切に盛り込んだ料金設定による水道経営の持続性の確保 ・維持管理への事業シフトや需要構造変化等を踏まえた、公平な負担の確保 	<p>経営の健全化 例えば…自己資本構成比率、起債残高</p> <p>計画的な施設更新 例えば…老朽施設残存率、施設更新事業への自己資金充当率</p> <p>適正な費用負担 例えば…経常収支比率、累積欠損金比率、料金の改訂頻度</p>

(2) 安心・快適な給水の確保

施 策 名	課 題 及 び 目 標	定 量 的 ・ 定 性 的 指 標 の 例
原水から給水までの統合的アプローチによる水道水質管理水準の向上	・ 水道事業者等による原水から給水に至るまでの水質管理の徹底、水道の水源流域等の関係者の連携の強化及び情報公開の推進により、水道水の安全と安心を確保する。	水道水質管理水準 例えば...制度対応状況、原水水質基準達成状況、水源における発生源把握状況、危機管理体制整備状況、リスクコミュニケーション実施状況
未規制施設等小規模な施設の水質管理対策の強化	・ 飲用井戸や貯水槽水道等の小規模な施設の水質管理対策の強化により、すべての国民が安全で安心できる水（十分に水質管理がなされた水）の供給を受けるようにする。	十分な水質管理のカバー率 例えば...飲用水等管理率 小規模施設の管理水準 例えば...水質基準超過率、水質事故発生率
給水用具の信頼性の向上	・ 多様化する給水用具の適正な構造、材質、施工及び維持管理の徹底により、給水の信頼性を向上させる。	給水用具の信頼性 例えば...主任技術者数、配管技能者数
より高度な水質管理技術の導入の促進	・ 水道水質の処理及び管理に関する効率的な技術（水質監視、取水、浄水、配水や給水に係る技術等）の導入の促進により、水道水質の向上、水質管理の効率化を図る。	新技術の普及度 例えば...新技術を含む事業計画の申請・認可件数、新技術の導入件数 水道水質の向上 例えば...異臭味苦情件数

(3) 災害対策等の充実

施 策 名	課 題 及 び 目 標	定 量 的 ・ 定 性 的 指 標 の 例
地震対策の充実、確実な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹施設を中心とした水道施設の耐震化を推進(特に東海地震防災強化地域、東南海、南海地震対策推進地域における基幹施設耐震化に重点) 	<p>施設の耐震化 例えば...基幹施設、管路網の耐震化状況、避難所、病院等への給水ルートの確保</p> <p>断滅水被害の最小化 例えば...地震時給水人口(率)、一人あたり貯水容量</p>
地域特性を踏まえた渇水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性を踏まえた規模の渇水に対し水道システム全体で安全度を確保 	<p>渇水に対する給水安全度 例えば...水道施設及び市民の節水努力(節水)により確保される蛇口における安全度・安定度</p>
相互連携、広域化による面的な安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単一施設の対策からシステム全体の対策を推進 ・ 連絡管等による相互連携、広域化により面的な安全性を確保 	<p>地域(広域圏)レベルの緊急時対応 例えば...水道システム全体で評価した安全度、圏域間連絡管によるバックアップ率</p>
災害発生時の事後対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細やかな応急給水、迅速な復旧に向けた応急給水計画の策定、応急復旧体制整備の推進 	<p>応急給水、応急復旧体制の充実 例えば...応急給水計画策定率、応急復旧体制整備率、一人あたり応急給水確保水量</p>

(4) 環境・エネルギー対策の強化

施 策 名	課 題 及 び 目 標	定 量 的 ・ 定 性 的 指 標 の 例
水道経営への経済性と環境保全のwin-winアプローチの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷の低減を図るため、資源の循環的利用の促進 ・ 温暖化対策、資源節約に資するため省エネルギー対策等の推進 	<p>資源循環利用率 例えば...廃棄物等の再資源化率、再生資材の利用率、廃棄物等の減量化率、廃棄物等の最終処分量</p> <p>資源・エネルギー節約率 例えば...単位水量当たりの電力使用量、電力削減率、有効率</p>
水利用を通じた環境保全への積極的な貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の持つ位置エネルギー、熱エネルギー等の有効利用 ・ 社会システム全体で環境負荷を低減 	<p>石油代替エネルギーの利用 例えば...再生可能エネルギー（小水力、太陽光、風力）発電量、新エネルギー利用量（率）</p>
健全な水循環系の構築に向けた水道施設の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水利用のシステムを水循環系の中で再構築する。 ・ 最適な取水・浄水計画への見直し作成等によってトータルで見た環境負荷低減への貢献 	<p>健全な水循環系への取り組み 例えば...流域協議会参加率、用途間転用件数、取排水系統見直し件数、浄水・配水システム再構築による薬品使用量削減率</p> <p>水資源の有効利用 例えば...有効率・有収率、用途間転用量</p>

(5) 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

施 策 名	課 題 及 び 目 標	定 量 的 ・ 定 性 的 指 標 の 例
水道分野の国際貢献の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミレニアム宣言に資する途上国への最適な水道技術の移転による水道事業の運営基盤の確立支援 ・ 水道分野の国際貢献を推進するための人材プール・ハブ組織等の形成により、国際協力に貢献可能な人材を継続的かつ安定的に確保 	<p>水道分野の国際協力実績 例えば...直接、間接的に技術移転を受けた水道技術者数、我が国援助による裨益</p> <p>国内基盤整備 例えば...国際協力従事可能者数</p>
国際調和の推進等我が国水道の国際化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業者や水道関連企業が我が国の水道レベルにふさわしい国際競争力を獲得 	<p>国際化への取り組み 例えば...国際機関等における日本人専門家数</p> <p>諸外国・機関の技術の導入 例えば...水安全計画（WSP）策定率</p>